

つくも保育園だより

令和8年2月号

つくも保育園
〒990-0051 山形市銅町2-19-1 ☎622-7623
http://www.yamagatashishakyo.or.jp/

保護者会活動へのご協力ありがとうございました

保護者会活動として、1月に2回目の絵本修理が行われました。お忙しい中参加してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

今年度は5月に園庭整備、6月にテラス清掃、7月・1月に絵本修理、8月に手作り玩具、11月にイルミネーション取り付けを行い、保護者委員の方だけでなく多くの保護者の方々が参加してくださいました。整備や清掃、補修などを行っていただき、子ども達は気持ち良い環境の中、のびのびと遊びを楽しむことができました。ご協力くださいました保護者の皆様に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	～身体測定 ひよこ・はと 個人面談～13日	豆まき				
8	9	10	11	12	13	14
		延長保育料×切		災害訓練	布団持ち帰り	
15	16	17	18	19	20	
				きりん組 お茶会	きりん組 チューブ滑り	
22	23	24	25	26	27	28
	天皇誕生日	1,2,3月 誕生会	フリー参観		保育料・給食費 振替日 布団持ち帰り	入園説明会

【3月の予定】 7日(土) 大掃除
21日(土) 修了式
24日(火) お別れ会

【お知らせ】

〇これまではと組に入っていた吉田史歩保育士、りす組に入っていた山口美紀保育士が1月から園全体フリーとして、都度各クラスへ入っております。また、うさぎ組に入っていた柏みか保育士が1月より担任としてひよこ組に入っております。どうぞよろしくお願いいたします。

〇2月28日から、給食担当の近江史奈が産休に入ります。

〇年間行事予定で2月13日(金)に予定しておりました災害訓練を、都合により12日(木)に変更させていただきます。ご了承くださいますようお願いいたします。

一年で最も寒さが厳しいこの時期、吐く息も白く、手袋の中の手もひんやりと感じ取られます。それでも子ども達は元気いっぱい！園庭や河原を駆け回っています。ただいまあ～と外から帰ってくると自分の体の半分以上ある大きさの袋に一生懸命ウエアをしまおうとするりす組さんの姿にびっくり！片付けも遊びの一部！自分でできるようになった事がとても嬉しい様子が見られます。

新しい学年に上がるとき、「やればできるよ！」と声をかけ励ましたくなる場面があるかと思います。しかし、「やればできるよ」と励ますことは、出来なかったらどうしようという不安も引き起こします。一方で、「やってみよう」とする気持ちを引き出せば一歩前進！子どもたちの内側の気持ちがグングン育っていきます。そんなポイントをご紹介しますね。

☆ 物事がうまくいったとき…褒めるべきは上手くいった結果ではなく、頑張ったプロセス！

☆ 失敗したとき…「失敗してつらかったね」と気持ちを分かちあえることが大切です。

☆ やる気や自信がない時…「何でなのかな」とその背景に目を向けその理由や乗り越え方を一緒に考えていきたいですね。

園長 高橋 梢

【誕生会について】

2月24日(火)に、1、2、3月生まれの誕生会を行います。お家の方の参観も可能ですので、都合のつく方はぜひいらしてください。※駐車場は園舎駐車場になります。年齢ごとに時間差で誕生会を行いますので、終了後は速やかな車のご移動にご協力をお願いいたします。

- 0. 1歳児 9:45～ 保育室
- 2. 3歳児 10:15～ りす組保育室
- 4. 5歳児 10:45～ ホール

ひよこ

降ってくる雪の様子を窓から眺め、指をさして「あ、あ」「こんこん」と教えてくれる子ども達。雪が積もった日には、スキーウェアを持ってきていただいたお友達は袖を通し、園庭にお出かけしました。バランスを取りながら雪の上を歩いたり、保育者と一緒にすくいあげたふわふわの雪を上に向けて投げたりし、体を動かしながら楽しんでます。また、だらいに入れた雪をお部屋に運んでくると、「これはなんだろう…？」と興味を持ち、冷たさに驚きながらも触ってみるお友達や気にせず握ったりカップに入れたりを楽しむお友達、気になるけれど触ることに慎重な様子のお友達など、様々な反応が見られました。また、室内遊びが増え、マットの山を上り下りしたり、トンネルくぐりや大好きな体操をしたりし、室内でも元気いっぱい体を動かしています。

生活面では、おむつ替えの際に自分でスポンを履いてみようとする姿や手を洗う際に袖をまくろうとする姿が見られ、身の回りのことを自分でしようとする場面が増えてきました。また、保育者に「やっで欲しい」と教えてくれる姿が見られた際は、気持ちを受け止め、手を添えながら一緒に取り組んでいるところです。

今月も天候や体調を見ながら、雪遊びや室内遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

りす

雪が降ってくると、「エルサのまほうだ！」「雪遊びできるね♪」と期待に胸を膨らませる子ども達。保育者やお友達と一緒に雪合戦をしたり雪だるまを作ったり、エルサの魔法ごっこでも大盛り上がりで、雪や氷の感触を楽しみながらたくさん体を動かして雪遊びを楽しんでいます。スキーウェアの着脱や後始末も自分でやってみようとする姿が見られるようになってきており、できないところは仕方を丁寧に伝えながら様子を見てさり気なく手伝う援助をしているところです。

今月も戸外遊びを楽しんでいくとともに、室内遊びでも自分の思いを安心して子ども達が伝えられるように仲立ちをしながら、友達と一緒に好きな遊びを楽しむことができるよう見守っていききたいと思ひます。また、生活面では内ズックの着用や着替え袋の扱いの練習などをしながら、進級に向けての準備を少しずつ始め、子ども達の期待や意欲を大切にしていきたいと思ひます。

うさぎ

雪が降り積もった日に「雪いっぱい積もったね！」と、雪遊びを心待ちにしていた子ども達。スキーウェアの着脱は、着方を思い出しながら難しいところやできないところを保育者に聞き、自分でしようとする意欲が伝わってきます。自分でやってみようとする力が育ってきていることを強く感じます。友達と一緒に雪合戦をしたり、手作りそりで遊んだり、雪や氷の不思議や発見も楽しんでいます。今月も天候を見ながら雪遊びを楽しみ、雪の面白さに触れていきたいと思ひます。

また、室内遊びでは自分なりに考えたり工夫したり、お友達と一緒に遊ぶ中でアイディアを言い合ったりする姿が見られます。好きなことや興味のあることを深めながら、友達と一緒にルールのある遊び、集団遊びも引き続き楽しんでいきたいと思ひます。

これまでも何度か4.5歳児のお兄さんお姉さんと触れ合い、一緒に遊ぶ機会を設けてきました。ドキドキしていたお友達も、年上のお兄さんお姉さんに優しくしてもらったり、遊びの中でいい刺激をもらったり、とても楽しいようです。異年齢児との交流で知る、様々な気持ちや経験を大切にしていきたいです。

ぼんだ

降り積もった雪に大喜びの子ども達。少し雪が積もると「今日は雪遊びできる？」と保育者への質問が多く聞かれます。あかしや公園や河原の坂をダイナミックに滑ったり、雪の上にダイブしたり、雪玉を投げ合ったり…と雪の感触にたっぷり触れながら遊んでいます。

室内遊びでは、みんなで手作りすごろく作りにも挑戦しました。自分の意見や気持ちを伝えたり、友達の意見も聞いたりすることで、互いに認め合う経験をしてほしいという思いから、マスの内容をグループで相談しながら決めることにしました。完成したら手作りすごろくで遊んでいきたいと思ひます。

きりん組さんが午睡をしなくなったこともあり、きりん組さんに教えて貰いながら布団敷きにも挑戦中です。自分達のことを自分達でできる楽しさを感じると共に、誰かのために何かをするという経験や、決まったお仕事に取り組んでいくといった経験を積み重ねていきたいと思ひます。

きりん

就学まであと2か月となりました。午睡がなくなり、その時間、線や平仮名のワークを使って、お勉強タイムをしています。みんなで机に向かい、姿勢を正し落ち着いて話を聞くこと、待つこと、丁寧に取り組むことの練習中。自分のペースでどんどん進めたいところを、ぐっこらえて、指示を聞いて取り組めるようになっています。グループごとに毎週リーダーや役割を相談して決めながら、当番活動も頑張っています。給食の配膳、掃除、整理整頓など、小学校への期待を高めながら、引き続き、前向きに取り組んでいけたらと思っています。それほど雪の多くない冬ですが、子ども達は少しの雪でもおはしゃぎ！あかしや公園の坂でそり滑りをしたり、雪合戦をしたりと楽しんで遊んでいます。今月は自然の家でのチューブ滑りを予定しているの、みんなでこの季節ならではの遊びを存分に楽しんでいきたいと思ひます。

はと

今年はなかなか雪が降り積もらず、雪遊びができない日が多く感じますが、少し雪が積もったときにスキーウェアを着て戸外に出ると、ちょんちょんと雪を慎重に触る子や、大きな雪玉を作って投げてみる子、保育者と一緒に雪だるまを作ってみる子などそれぞれ雪に触れ、感触を楽しむことができました。また、スキーウェアは、着方を丁寧に伝えたり気なく手伝いながら、子ども達の「自分でしたい！」の気持ちに寄り添い関わっているところです。今月も天候を見ながら雪遊びを楽しんでいきたいと思ひます。生活面では、午睡明けにオムツが濡れていない子を中心にトイレに行き始め、意欲的にトイレへ向かう姿が増えてきました。トイレに行きたい気持ちから自分でスポンやオムツを脱ぐ姿も多く見られます。自分でできたことを大いに認めて「自分でできた！」という自信に繋げていきたいと思ひます。また、進級へ向けて階段の上り下りをしたり、りす組のお部屋に遊びに行ったりする機会を多く持ちながら、安心して進級へ向かっていけたらなと思ひます。